

川崎市に対し

「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」を申し入れ！ ウイズコロナ対応や市内の課題対策などを要請

連合神奈川と川崎地域連合は、2022年8月30日(火)16時00分より川崎市第3庁舎において、「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」の申し入れを行いました。コロナ対策や自然災害対応、市内の様々な課題など連合神奈川は27件、川崎地域連合130件の申し入れをおこないました。



要請書を手交する渡部議長（左）と福田市長（右）

冒頭、連合神奈川 吉坂会長は「川崎市は、コロナ第7波で大変な中、様々な対応をいただいていることに敬意を表したい。2023年度に向けた要請は『平和で安心して暮らせる社会の実現に向けた取り組み』や『自然災害の対応、コロナ禍の長期的な対応』などになっている。このような状況下でも政策・制度を進めていくことは重要な活動であるご理解いただきたい」と挨拶しました。



吉坂会長

つぎに川崎地域連合 渡部議長は、「感染が収まらないコロナ禍の様々な対応に敬意を表したい。2023年度に向けた要請内容は、組合員の思いやより働きやすく住みやすい街になることを願う要請となっている。川崎市内で働く者として川崎の発展に向けて出来る限りの協力をしたいと思っている」と挨拶しました。



渡部議長

福田市長からは、「今後、更なる変異株とインフルエンザの課題があるといわれているが、市として検査キットを全員配布できるように努力していきたい。またウイズコロナ社会の中で、経済を回していくことはすべての人の命を守ることに繋がっているののでしっかりやっていきたい」と挨拶されました。



福田市長

